

としはあんない2月



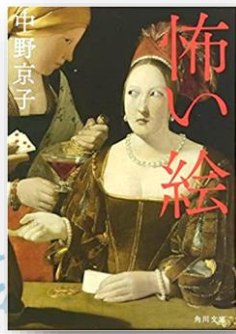
栃木県立栃木高等学校
図書委員会
令和3年2月1日発行

《図書委員が選んだお薦めの本》

保健体育科 須藤 宏 先生

「風が強く吹いている」 三浦しをん

今年の箱根駅伝は無名の創価大学が最終10区まで独走、誰もが優勝を確信した圧巻の走り・・・。
しかし創価大学には残酷な結末となりました。こんな事が実際に起こるものなのか。私が紹介したいこの小説も箱根駅伝が舞台。2007年の漫画化、ラジオドラマ化を皮切りに、2009年1月に舞台化、同年10月31日に実写映画化、2018年にテレビアニメ化、2020年に新作の舞台化が発表されるなど、各メディアで取り上げられています。スポーツものの中では、名作中の名作と言っても過言でないでしょう。どんな話かという、物語は2人の男子大学生を中心に展開されます。怪我で強豪校の推薦を棒に振った寛政大の清瀬灰二が、名門高校の陸上部時代の事件で心に傷を抱える天才蔵原走(かける)に出会う。同じくアオタケ荘に住むほとんどのメンバーが長距離未経験の素人学生。そのメンバー10人が1年未満の練習期間で箱根駅伝に挑む物語。これを読むと箱根駅伝の見どころもわかるようになります。映画や漫画にもなっていて、もう知っている方も多いと思いますが、気持ちが熱くなる青春小説。おすすめの一冊です。



「ミッキーマウスの憂鬱」 松岡圭祐

コロナ禍の現在、多くの人が行きたいと思うが行けない場所である「ディズニー」。この本はディズニーランドで準社員として働くことになった大学生のお話です。夢の国で働けると期待に胸をふくらませていたが、いざ働いてみると裏の仕事には夢なんてなかった。大学生は裏方で働く人たちと接していく中で、正社員と準社員との格差、人間関係のストレスなど大きな壁とぶつかっていきます。続きは是非手にとって読んでみてください。

1年3組 石関哲平

「怖い絵」 中野京子

この本はタイトルの通り世界の「怖い絵」を紹介、解説している本です。ムンクなど皆さんも知っているような画家の絵もあり、意外性もある一冊です。また実際の絵が、カラーで印刷されているので解説を読みながら絵を見ることもできます。この絵をオススメするポイントは「意味が分かったら怖い」というところにあります。一見怖い描写が無い絵でも、時代の背景や作者の境遇などを知ると、その絵の怖さが大きく増します。そのような解説もされており、読み応えも十分なので是非読んでみてください。

1年3組 糸井陽周

「笑うな」 筒井康隆

「時をかける少女」で有名な日本の小説家「筒井康隆」。彼の作品の特徴の一つである「スラップスティック・コメディ」や「ブラックユーモア」、「ナンセンス(意味がない)」な部分をたくさん含んだ作品の一つがこの「笑うな」である。ショートショートという形式で34編もの作品をまとめているが、短いものは見開き1ページで終わるものもあり、普段本を読まないような人でも手に取りやすい一冊。

1年3組 前田裕哉

「ゼロからトースターを作ってみた結果」

トーマス トウェイツ

誰もが知っているトースターをゼロから作るという、一見無謀な実験に思えるユニークな本で、かつ軽快な語り口と過程をカラー写真で示しているのが楽しく読むことができます。ですが、内容は至って真面目で、生産と消費が切り離されている現代社会に対する問題提起も感じる事ができます。読者の世界認識を変えさせるような魅力的な一冊です。

1年4組 石井琉成

「四つの署名」 コナン・ドイル

ある日、ベーカー街を訪れた若く美しい婦人。父がインドの連隊から帰国したまま消息を絶って十年になるが、この数年、きまった日に高価な真珠が送られてくるという・・・。名探偵のシャーロック・ホームズが真珠の所有者を捜し当てた時、その男は殺され、そこには「四つの署名」が残されていて、その謎を解くという物語です。殺人事件と「四つの署名」との関係性を解き明かしていくところがとてもおもしろい、ミステリー好きにはたまらない一冊です。

1年4組 杉本陽輝

「マイ国家」 星新一

私が紹介するのは「マイ国家」という本です。この本はショートショートというジャンルの短編小説集です。その中でもこの本の題名になっている「マイ国家」は、自宅を独自国(マイ国家)にした男が、この国に迷い込んだ営業マンを不法侵入者として逮捕し、マイ国家について語るとい話です。男の言っていることは意外にも筋が通っているため、読む前と後で「国家」についての価値観が変わると思います。是非読んでみてください。

1年4組 高橋寛人

第164回

芥川賞・直木賞 受賞作品決定

芥川賞

お も
『推し、燃ゆ』

著者／宇佐見りん



直木賞

うらさび がわ
『心淋し川』

著者／西條奈加



寄贈図書案内

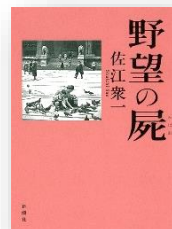
佐江衆一 著

かばね

『野望の屍』

ヒトラーと石原莞爾。同年生れの二人を軸に東西の時局から大戦を描く渾身の史伝。

栃高OBである作家、佐江衆一さんの本です。ぜひ読んでみてください。



よろしく

延滞図書を回収中です!!

冬休み前までに貸出した図書は、返却期限を大幅に過ぎています。必ず返してネ。

伝えよう！本の魅力コンテスト 優秀賞 貝村柊介さん 賞状授与

栃木県教育委員会主催「伝えよう！本の魅力コンテスト」ツイッター部門において優秀賞に選ばれた1年2組貝村柊介さんに賞状が贈られました。



新刊図書

紹介した本は順次図書館に配架します！お楽しみに！



岩波新書／『上杉鷹山』・『江戸問答』・『地域衰退』・『倒産法入門』

岩波ブックレット／『地域を変えるソーシャルワーカー』
BLUE BACKS／『トポロジカル物質とは何か』
『顔』の進化』

1. 岩波ジュニア新書／『女の子はどう生きるか』